

巣

～CLT 屋根による憩い空間の創出～



南側

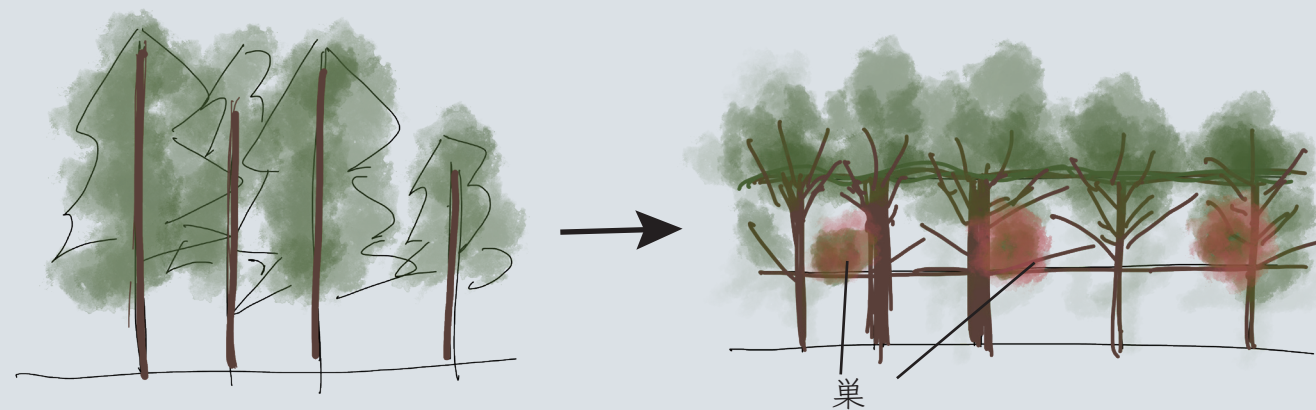
北側

敷地条件



文京キャンパスの
ほぼ真ん中に位置
し、食堂、情報基
盤センター、学生
交流センター、図
書館など他学部、
他学科が自然と訪
れ混じり合う場
である。

コンセプト



様々な学部・学科が入り混じるこの場所は元は木々が生い茂っていた。大屋根が学生を守るように広がり、その下で自然発生的にできる巣をイメージした。開放的な空間は周辺と見る見られるの関係を作り出し、巣を見守ることができる。大屋根により象徴的となる建築において学生を育み、交流を生む空間となる。

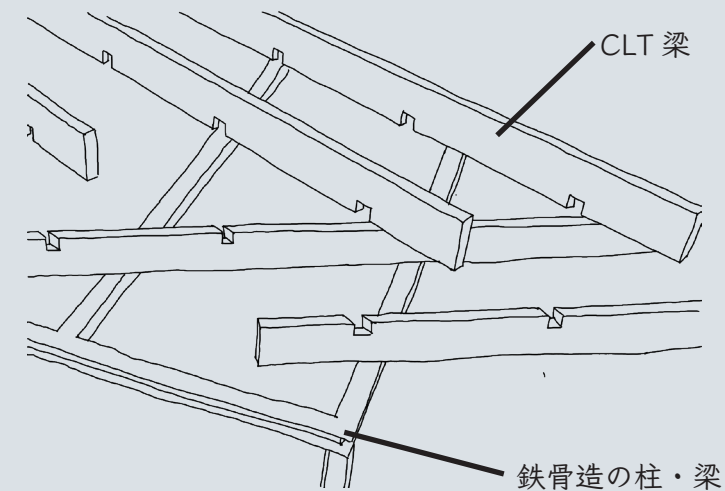
光庭

1階に位置する屋根のない吹き抜け空間。
他の開放的な部分とは異なり木造パネルで囲まれ、日光が直接降り注ぐ穏やかな空間になっている。

オープンスペース

2階部分に位置し、壁に沿ったもの、開放的なもの、通路の途中にあるものなど少しずつ雰囲気の変わる多様な空間が屋根の元に広がる。木々の上に作られる**巣**を表現した。
現在、吹き抜けになっている部分に増設も可能。

屋根の構造



屋根の構造を CLT 梁によって支えることで大空間を可能とした。**木々の枝がしげり**、作られる巣の上を優しく守るように覆っている様子を表現した。

屋外オープンエリア

屋外に位置し、屋根があるエリア、吹き抜けて2階部分とつながるエリア、屋根スラブがなく CLT 部材だけのエリア、など多様な空間が存在する。キッチンカーの乗り入れだけでなく、倉庫に椅子などを収納すれば、様々なイベントを行うことができる。

